

博士後期課程の目的

豊橋技術科学大学学則（抜粋）

第4条の2

3 博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して先導的技術科学の研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

4 博士後期課程に、次の専攻を置く。

専攻名	目的
機械・構造システム工学専攻	健全で快適な文明社会を構築するために、機械システム工学、生産加工学および構造システム工学における高度な専門知識を深化させるとともに、指導的で創造性豊かな研究者を養成する。
機能材料工学専攻	高度文明社会を維持・発展させるためには、高性能・高機能材料の開発は不可欠であり、そのような研究開発を推し進める能力を持つ人材の養成を目的として、高性能・高機能材料の設計・合成・解析・応用に関する教育と先進的研究を行う。
電子・情報工学専攻	高度情報化社会における人類の幸福や技術科学の持続的発展を目指して、電子・情報工学の関連分野において人文・社会工学の手法も取り入れた広範囲でかつ高度な教育・研究を行い、実践的、創造的かつ指導的研究者・技術者を養成する。
環境・生命工学専攻	生物の機能と生命のしくみを科学的に探求し、その知見を応用することにより環境との調和を達成できる新しい工学体系を確立していくとともに、人類の活動基盤となる建築・地域計画など都市が有すべき利便性の追求、経済活動の活性化と環境との調和という一見相反すると思われる命題を両立させ得るべく学際的教育研究を行い、持続社会の実現のための技術開発に寄与できる人材を養成する。